

ネットワーク

発行日 平成21年6月22日
発行 白石地区ネットワーク協議会
責任者 情報交流部会長 木村 幸男
札幌市白石区本通1丁目南2-32
電話 860-1431(白石会館内)



さらなる変革を求めて 6年目を迎えたネットワーク協議会

白石地区ネットワーク協議会
会長 黒澤昌保

1. はじめに

去る4月24日(金) 白石区民センター3階ホールを会場に平成21年度のネットワーク会議総会が開催されました。

5年前の平成16年4月、当時区役所の出先機関であった市内すべての「連絡所」が「まちづくりセンター」へと改編されました。これは単なる名称の変更ではなく、札幌市は名称の変更を契機に、地域住民が主体的にまちづくりに参加する仮称「まちづくり協議会」の立ち上げを奨励しました。

平成16年5月、8連町ある白石区内で最初に産声を上げたのが、白石地区連合町内会が中心となって設立した「白石地区ネットワーク会議」でした。

2. 「プロジェクトチーム」スタート秘話

設立に先立つ1年前の平成15年の9月、白石会館でビデオの上映がありました。ビデオの内容は京都の桂離宮の修復工事でした。

国宝桂離宮の修復工事には、それぞれ立場が違うその分野のエキスパートが集合しました。彼らの専門知識や技術を集合させるプロセスの中で修復工事が進行していきました。

ビデオを上映した当時の加藤至所長の意図は、立場が違う組織や団体でも、横断的な連携を保って一つの目標に向かっていけば、目標の達成は可能だということを参加者に覚醒させること

でした。

プロジェクトチームは8回の会議を経て、ネットワーク会議の骨格が出来上がり、その後さらに3回の設立準備会議を経て、平成16年3月、ネットワーク設立総会が開かれました。

3. 現状と今後の課題

一つの節目となる5年が経過した今年の総会では名称が「白石地区ネットワーク会議」から「白石地区ネットワーク協議会」に変更されました。

また、6部会の事業の主なものとして、情報交流部会が20年度から実施した「まちづくりふれ愛音楽会」、防災部会が21年度への継続事業としている「防災マップづくり」、生活安全部会が中心となって20年の12月に立ち上げた「青バトの会」など目白押しです。

青少年女性部会が5年前に始めた「通学パトロール」も、6年目を迎えた今年の6月、全道表彰を受けることになりました。

体育振興部会の「いきいき健康まつり」は老若男女300名以上の参加者があり、白石地区の一大イベントに成長しました。

しかし、私たちは現状に満足することなく、事業の内容を吟味し評価し続けることが肝要です。換言すれば絶えず「さらなる変革」を求める精神を持ち続けなければなりません。

白石地区連合町内会 定期総会開催

白石地区連合町内会 防災防火部部長 大藤 昭男

平成21年度の白石地区連合町内会定期総会は、去る4月18日(日)アサヒビール園を会場に開催されました。

総会には23単町の会長さんと各単町から代議員3名、総数80数名が出席し、冒頭、黒澤昌保会長から「平成20年度の事業は皆さん方のご協力を得まして、すべて終えることができました。本日の総会につきましては宜しく願います。」との挨拶がありました。

議案の中で注目されたことは、21年度主要事業計画の中の、防災防火部が中心となって実施する「DIGと防災マップづくり」事業です。

最後の議案21年度役員選出では、下記の役員が、再任・新任されました。

会 長	黒澤昌保(白石中央第四町内会)	再任
副会長	杉谷茂夫(白石中央第二町内会)	再任
〃	加賀靖之(白石中央東親交会)	再任
〃	佐藤昌幸(共栄第二町内会)	再任
〃	中澤迪也(コープ野村南郷町内会)	再任
監 事	宮永陽一(栄通西町内会)	再任
〃	川合幸男(共栄第五町内会)	新任

総会終了後、長年にわたり町内会活動に貢献された25名の方々に、宮川区長より感謝状の贈呈があり、その後、23単町関係者と白石地区内関係団体代表者が一堂に会した懇親会が開かれました。



連合町内会定期総会風景

ネットワーク会議定期総会

白石地区ネットワーク協議会 加藤 貢
防災部会副部会長

平成21年度白石地区ネットワーク会議定期総会が、4月24日(金)18時30分より、区民センター3階大ホールで100近い参加者を得て開催されました。

議案の中に規約の一部改定があり、主に名称の変更が提案されました。

「白石地区ネットワーク会議」から「白石地区ネットワーク協議会」と名称が変更されました。それに伴い「議長」が「会長」、「副議長」が「副会長」となり、部会の一つ「福祉保健部会」が「保健福祉部会」と部会名が変更されました。



ネットワーク協議会定期総会風景

平成21年度役員選出は、全員が再任されました。新役員は次の通りです。 敬称略

会 長	黒澤 昌保(白石地区連合町内会)
副会長	中澤 迪也(地区青少年育成委員会)
〃	栗山 文雄(地区民生委員児童委員協議会)
会 計	浅沼 英樹(白石中央第一町内会)
監 査	堤 繁雄(地区老人クラブ連絡協議会)
〃	杉谷 茂夫(白石地区連合町内会)
事務局長	伊藤干鶴子(白石地区社会福祉協議会)

最後に黒澤会長から6部会の部会長の発表があり、6部会長とも再任されました。

その後懇談会が開かれ、来賓として出席された上野市民部長さんの挨拶のあと、白石地区内の学校関係者を始め多くの関係団体の方々との、交流を深める絶好の機会となりました。

【春の褒章・叙勲】二名の方がご受章されました

藤田 善昭氏 藍綬褒章受章



現在、白石地区保護司会副会長
白石地区民生委員児童委員
「社会を明るくする運動」でシンポジウムのコーディネーター役を毎年努めております。この度は、永年の人生の再出発を手助けされた更生保護功績により藍綬褒章を受章されました。

阿部 敏雄氏 瑞寶単光章受章



現在、白石区統計調査員協議会連合会理事
白石地区統計調査員協議会副会長
白石地区連合町内会相談役
元社会福祉協議会会長
上記の公職を歴任され、このたび永年の各種統計調査活動に寄与された功績により瑞寶単光章を受勲されました。

☆これからもますますご健勝にて、明るい社会の構築に向けて、ご活躍されますよう地域住民と共にお祝いご祈念申し上げます。

各種団体の紹介 【災害時支え合い福祉マップづくりに挑戦】

“時々、「民生委員って何しているの？」と聞かれます”

白石地区民生委員児童委員協議会会長 栗山 文雄

わたしたち民生委員・児童委員は、通常、守秘義務のある“行政協力活動”と社会福祉協議会や地域の方たちと一体となつての“自主活動（ボランティア）”を行っております。

最近は、「子育てサロン」「安全・安心パトロール」「ふれあいサロン」などの活動を通じ、「児童虐待防止」「家庭内暴力」への対応、「ひとり暮らし世帯の見守り」「高齢者への振り込め詐欺・悪徳商法被害の防止」「ひきこもりがちの人々」への継続支援が必要になっております。

また、毎月1回全委員が集まり地区協議会を

開催し報告・連絡・相談等の調整や研修、関係機関との福祉情報交換も行っております。



栗山会長が各委員に指導している様子

今回は、民生委員制度90周年記念事業行動宣言である『災害時一人も見逃さない運動』の一環として民生委員児童委員の日（5月17日）活動強化週間に合わせ白石地区協議会が独自で万一の大規模災害に備えて5月9日(木)と5月23日(木)の2回に分け、白石会館において簡易災害図上訓練（D I G）方式による地域の「防災・福祉マップづくり」（午前10時から4時間程）に挑戦、実施いたしました。



中央・本通ブロック・マップづくり風景

各委員が、隣近所の委員と一緒に話しながら担当地域の避難場所、消火栓の位置、危険箇所、要援護者の避難経路等を改めて再点検し、自分の担当する活動地域を再確認しました。

これは通常の声かけ・見守り活動を続けて行くうえでも必要なことであると思っております。

わたしたちは、今後この体験を生かし福祉のまちづくり推進のため、町内会が行う防災活動や福祉活動に協力ができればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



共栄・南郷ブロック・マップづくり風景

行事予定

平成21年

- 6/1 (月) 初夏の大型街頭啓発 南郷丘公園
 7/2 (木) 連町施設見学 つきさお温泉
 ＊札幌資料館（旧高等裁判所展示室）
 ＊札幌市・市民情報センター・産業振興センター
 7/10 (金) 白石地区「三者交流会」白石会館
 主催 白石地区青少年育成委員会
 7/18～19日 (日)
 白石区ふるさと祭り 区民センター
 （白石連町催事担当） 駐車場
 7/30 (木) 社会福祉研修会（医療講座）
 演 題 「高齢者に多い腰痛と
 こむらがえりの治療法」
 白石会館
 主催 白石地区連合町内会・ネットワーク協議会
 白石地区民生委員児童委員協議会
 白石地区社会福祉協議会
 9/6 (日) 白石地区いきいき健康まつり
 白石小学校
 主催 白石連合町内会・ネットワーク協議会
 9月～11月 パソコン基礎講座
 （3ヶ月10日間）ふれあいプラザ
 10月 広報誌「ネットワーク」第8月号刊行
 10月 白石地区「第2回ふれあい音楽会」
 会 場 未定
 主催 白石地区ネットワーク協議会
 白石地区連合町内会

編集後記

本年広報誌7号よりスタートとなりましたが喜ばしいニュースとして春の褒章・叙勲2名の方が受章されました。また、ネットワーク協議会と名称も変更されました。

今回、民生委員児童委員が作った「福祉マップ」は委員全員が参加し作成したものです。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

—情報交流部—